

資料提供	
平成25年9月25日	
担当課 (担当者)	県立博物館 学芸課 (石田)
電話	0857-26-8044

歴史講演会「因幡守・在原行平と因幡介・春道永蔵」の参加者募集

平安時代初期の貴族、在原行平（818～893）は、詩歌に秀でた人物として知られており、『古今和歌集』に収められ、『小倉百人一首』の中の一首としても有名な「立ち別れ いなばの山の 峯におふる まつとし聞かば いまかへりこむ」は、行平が因幡守を務めた齊衡2（855）年から天安元（857）年頃に詠まれた歌と考えられています。

また、行平の部下として天安元（857）年まで因幡介を務めた春道永蔵（生没年不明）は、承和6（839）年に遣唐使の一員として唐へ渡り、在唐中は唐への貢物、日本への輸入品の管理を担当し、中国語に通じ実務に長けた人物と推測されています。

平安時代初期は、こうした詩歌や中国文化に通じた「文人」が重く用いられた時期である。今回の講演会では二人の事跡を通じて、当時の因幡国の様子を解説とともに、現在、鳥取県東部に伝わる在原行平伝承についても紹介します。

記

1 日 時 平成25年10月6日（日）午後2時～3時30分

2 会 場 鳥取県立博物館 講堂

3 講 師 鳥取県立博物館 学芸課人文担当 主幹学芸員 石田 敏紀

4 定 員 なし（聴講料無料、申込不要）

5 その他 県民カレッジ連携講座

6 問い合わせ先 鳥取県立博物館 学芸課人文担当

〒680-0011 鳥取市東町2-124

（電 話）0857-26-8044

（ファクシミリ）0857-26-8041